

2014年 年頭のご挨拶



一般社団法人情報科学技術協会
会長 小野寺夏生

明けましておめでとうございます。

2014年のスタートにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当協会では、昨年も、会誌「情報の科学と技術」の編集と刊行、図書の出版、情報検索能力試験の実施、各種研修会・講習会の実施、科学技術振興機構との共催による情報プロフェッショナルシンポジウムの開催、OUG及びSIGにおける研究等の事業を、それぞれの委員会と会員諸氏のご協力を得て実施いたしました。各種行事への参加者の伸び悩み等、厳しい状況に直面しているのも事実ですが、何とかそれを克服し、これらの事業を継続・発展させて行きたいと思っております。

協会の発展につなげるべく、上記の継続事業の他、昨年新たに二つの事業を立ち上げましたので、ここで簡単に紹介させていただきたいと思えます。

その一つは3i研究会です。3iとはInformation, Infrastructure, Innovationを意味していますが、この研究会では、論文、特許、書籍、ビジネス情報、Web情報等の多様な情報源から活用シナリオを想定した分析を参加者自身が実践することにより、分析スキルの向上や情報の新しい活用方法の獲得を目指すこととしています。研究会には、予想を上回る35名の方に参加していただき、4つのグループに分かれて昨年8月から活動を開始しております。研究期間は約1年ですので、今年の後半には、その研究成果を発表する場を設ける予定です。この事業は今後も継続の予定で、今年半ば頃に新しい参加者の募集を行いますので、ご関心のある方は是非ご参集下さい。

もう一つの新しい事業は、情報関係の国際標準化活動です。国際標準化機構(ISO)には約200の専門委員会(TC)がありますが、そのうちの「情報とドキュメンテーション」(TC46)と「専門用語、言語、内容の情報資源」(TC37)の国内委員会に関する業務を、本協会が受託しています。これについては、会誌2月号から始めるコラム「INFOSTAの活動紹介」で取り上げますので、そちらをお読み下さい(なお、3月号のこのコラムでは上述の3i研究会を紹介する予定です)。この受託事業に限らず、標準化については更に検討を進めたいと考えております。

協会の諸事業に対し、本年も倍旧のご支援ご協力をお願いいたしますとともに、皆様の本年のご活躍を念じつつ、年頭のご挨拶といたします。